



学校だより

8・9月号

令和4年8月29日発行
横浜市立磯子小学校

えがお かがやき 磯子小

「夏の風物詩…ラジオ体操」

副校長 大木田 明子

今年の夏、皆様はどんな夏をお過ごしでしたでしょうか…

現在も新型コロナウイルス感染症拡大がなかなか治まらない状況ではありますが、各ご家庭で過ごした夏休みの思い出を胸に、今日から元気な子ども達が磯子小学校に戻ってきました。

さて、学校が始まる前の先週の朝、3年ぶりに磯子小学校の校庭では、地域の「ラジオ体操」が実施されていました。地域の子供会によって、「ラジオ体操」の実施期間は異なっているみたいですが、こちらの町内会では、学校が始まる1週間前に実施することで、子ども達に生活リズムを戻してほしいということ伺いました。そこで、私も一緒に参加してみました。

「おはようございます！」6時15分頃からあくびをしたり、目をこすったりしながら、首からカードをぶら下げた子ども達が校庭に少しずつ集まってきました。一緒にお父さんやお母さんの姿もあります。役員の方々に、全員がラジオに耳を傾け、両手を広げ、間隔を開け…「ラジオ体操第一」「首の運動」「ラジオ体操第二」約15分間身体を動かします。一つ一つの動きをしっかりとすると結構いい運動です。最後には、カードにスタンプを押してもらって、お菓子をいただく姿…地域の方々に育てていただいている場面です。昔も今も変わりません。曲を聞くと、老若男女、大人も子どもも身体が自然に動き出す「ラジオ体操」の始まりは、1928年（約90年前から）歴史があります。作った人は、遠山喜一郎さん（茨城県出身）というベルリンオリンピック日本代表体操選手だった方だそうです。

磯子小学校の全校児童も運動会の準備運動として全身運動で身体の血行を促進し、新陳代謝を向上させる「ラジオ体操」を行っています。1年生が「ラジオ体操を踊ったよ」とつぶやいているのを聞いた時は、笑ってしまいました…

ドキドキワクワクしている子ども達一人ひとりが、安全に、安心に、楽しい学校生活を送ることができるように、職員一同、一体となって取り組んでいきます。

保護者の皆様、地域の皆様、各関係機関の皆様、今後も、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。

